

中国新聞掲載: 広島大学病院による my mediPhone 導入

メディフォン株式会社(東京都港区、以下「メディフォン」)が提供する医療通訳サービス「my mediPhone」を、広島大学病院様にご導入頂いた件に関して、2022年3月14日付けの中国新聞朝刊に掲載頂きましたことをご知らせいたします。

【掲載内容】

【広島県】

医療通訳、30言語に対応 広島大病院、正確な意思疎通促進 オンラインでやりとり、端末7台導入

中国新聞 2022年3月14日(月)



端末を持ち、医療通訳の機能を説明する家護谷副部長

広島大病院(広島市南区)は、外国人患者への新たな医療通訳のサービスを導入した。オンラインでつなぐ通訳者の言語は30を数える。詳しい病状や治療方針を含む医師たちとのやりとりは母国語でないと理解しづらい。通訳の多言語化で、外国人患者の利便性を高める。

同病院は1日、医療通訳のメディフォン(東京)が提供するサービスを採用。通訳者をつながる端末7台を導入した。英語と中国語、韓国語の3カ国語は予約なしでも医療用語の知識を持つ通訳者と24時間、いつでも会話できる。

ベトナム語やタガログ語、インドネシア語なども午前8時半から午前0時までの制限はあるものの通訳者が対応する。通話時間や回数に制限はない。人工知能(AI)による自動翻訳は107言語に対応する。

同病院によると、新型コロナウイルスの感染拡大前には年間約400人、国別で40カ国以上の外国人が新規患者として受診している。2月末まで通訳者をつなぐ別の医療通訳のサービスを使用していたが、通話時間に制限があり、自動翻訳に頼るケースが目立っていたという。

同病院は通訳者を介する方が正しい意思疎通ができると判断し、新サービスの導入を決めた。国際医療支援部の家護谷(けごや)五月副部長は「診療は専門用語が飛び交い、デリケートな場。より患者に寄り添う対応ができるようになる」と話している。(新本恭子)

掲載元: https://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/fukushiiryounews/20220314_092300.html

【広島大学病院 医療通訳サービス「my mediPhone(マイメディフォン)」導入プレスリリース】

https://mediphone.jp/news/press_release/2022/02/2224/

【医療通訳サービス「my mediPhone(マイメディフォン)」 概要】

<https://mediphone.jp/mymediphone/>

医療者と外国人患者の円滑なコミュニケーションを実現する、医療に特化した「医療通訳」+「機械翻訳」サービスとして、医療機関を中心に約 87,000 機関に導入頂いております。国内最大級の登録医療通訳者数を誇り、希少言語含む最大 30 言語に対応することで応答率 99%超を達成、電話回線とアプリ活用で院内のどこからもご利用頂けます。2020 年度グッドデザイン賞(主催:公益財団法人日本デザイン振興会)を受賞。



【メディフォン 概要】 <https://mediphone.jp/>

電話やビデオを通じた遠隔医療通訳サービス“my mediPhone(マイメディフォン)”、医療従事者向けの外国人患者受入れ関連の研修・セミナーの開催などの事業を展開し、医療機関の外国人患者受入れ体制整備を包括的に支援しています。核となる遠隔医療通訳サービスでは、医療機関のみならず自治体や医療団体への導入も進んでいます。さらに、2021 年には、2億円の資金調達を経て、これまで培ってきた知見・ネットワークを生かした健康経営・予防医療に貢献する新事業としてクラウド健康管理システム“your mediPhone(ユアメディフォン、<https://your.mediphone.jp/>)”を立ち上げました。ミッションは“医療における言語障壁を解消する”。

【本プレスリリースに関する報道機関のお問合せ先】

メディフォン株式会社 MAIL: info @mediphone.jp / TEL:03-6426-5451